

プログラム番号	06041
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	神戸大学大学院医学系研究科		
②学長名	神戸大学長 野上智行		
③所在地	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	医学部学務課医科学専攻教務学生係・係長	
	担当者氏名	川嶋慎二	e-mailアドレス daigaku@med.kobe-u.ac.jp
	電話・FAX番号	Tel (078) 382-5193 Fax (078) 382-5125	
⑤ホームページ URL	<a href="http://www.med.kobe-u.ac.jp/WelcomeJ.html">http://www.med.kobe-u.ac.jp/WelcomeJ.html</a>		
⑥大学院在学留学生数	796 人 (うち、国費留学生 213 人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	医学医療におけるアジアの指導的人材育成プログラム		
②プログラムの形態	博士課程 (3.5年間)		
③実施研究科・専攻	医学系研究科		医科学専攻
	(所在地) 〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1		
④連携大学・研究科・専攻名			
⑤受入れ学生数	5 人 (うち研究留学生優先配置人数: 2人) (うち日本人学生数: 0人)		
⑥担当教員数	合計 53 人 (うち専任: 45人、兼任: 人、非常勤: 8人)		
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院医学系研究科・教授		
	研究科長名 千原和夫		

### 【3. プログラムの内容】

本プログラムは、東南アジアを中心に留学を希望する者を正規課程に入学させるとともに、相手国の研究者のレベルアップを図ることにあります。従来ややもすると基礎研究に偏っていた研究交流を、展開領域（基礎と臨床の融合領域）を中心にシフトさせることにより、比較的短期間で成果を上げることが可能にします。指導教授に加えて、英語に堪能な補助指導教員を任命し、研究遂行及び論文作成に必要な指導を行い、3年間又は3年6か月間で学位を早期取得させることにより、地球規模で活躍する有為な人材を養成するものです。

入学時に医学部附属医学医療国際交流センター（International Center for Medical Research and Treatment, 以下「ICMRT」という。）の5つの教育研究分野から一つと医科学専攻の3領域・47教育研究分野から一つを選択し、二つの分野において研究を行い広い視野を持つ研究者を目指すコースを履修することにより、基礎医学分野と臨床研究を含む医療分野を同時に学ぶには最適なシステムであります。

#### 医学医療におけるアジアの指導的人材育成プログラム

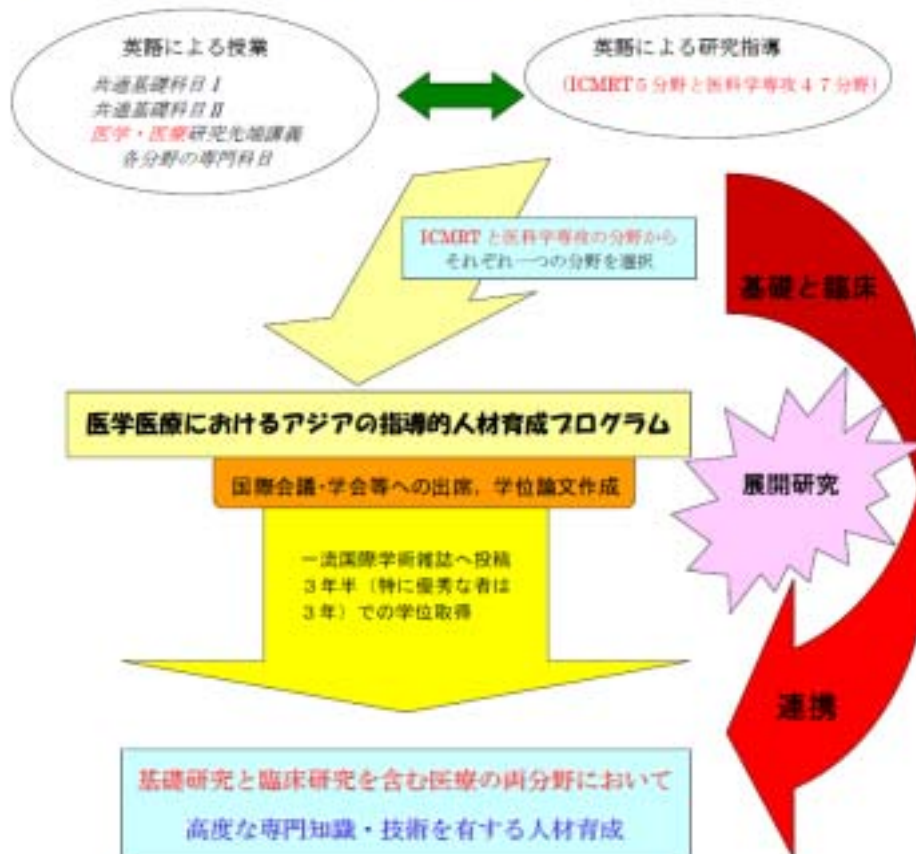


一方、これまでに実績のあるインドネシア大学、フィリピン大学、マヒドン大学、国立シンガポール大学などの特定拠点大学を中心とした密度の濃い国際学術交流と神戸大学バイオシグナル研究センター、都市安全研究センターや学外のSPring-8、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター、兵庫県立粒子線医療センター、先端医療センター等との連携による学際的融合領域の先端的分野における幅広い教育ができることに本プログラムの特色、独自性があります。これらの施設において、研究指導を受け、新しい手法、手技を学ぶこともできます。

このような環境を生かし、本医科学専攻独自の履修制度である「共通基礎科目Ⅱ」では、神戸医療産業都市構想における人材育成（研究者養成）の面で、神戸バイオテクノロジー研究・人材養成センター（神戸大学）等においてトレーニングを行い、世界最高水準の研究や医療技術などに触れさせるカリキュラムを用意します。

また、本プログラムでは、高度な学位論文の完成を目指すとともに、コースワークを重視します。コースワークとしては、バイオテクノロジー・分子生物学・生化学・遺伝学などの基本知識・技術を修得するための「共通基礎科目Ⅰ」、難病・悪性腫瘍などの高度の医学研究知識を修得するための「共通基礎科目Ⅱ」、また、最先端知識を学習するための「先端医学シリーズ」、及び「先端医学トピックス」を用意します。「共通基礎科目Ⅱ」では、神戸医療産業都市の神戸バイオテクノロジー研究・人材養成センター（神戸大学）等においてトレーニングを行い、世界最高水準の研究や医療技術などに触れる機会を設けています。

### 医学医療におけるアジアの指導的人材育成プログラムの教育・研究指導



研究指導は、指導教授及び補助指導教員の指導の下に、早期に先端的課題について独創的で高度な研究成果をあげさせる。研究成果をまとめた論文をレベルの高い国際学術雑誌に投稿し、受理されたもののみを学位論文として審査し、博士（医学）の学位を授与します。

以上の教育によって、基礎医学と臨床研究を含む医療の両分野において、将来、指導的な役割を果たすことが期待できる海外の研究者・教育者・医師を育成する。